

前置きが大変長くなりましたが、1484-6号は戯言(ざれごと)ですので、流し読みで結構です。授業参観や保護者会など、1学期の最後までお疲れ様でした。保護者の皆さまからは、先生方にたくさん感謝の声をいただいています。子供たちの姿を通して、保護者の方々の本音だろうと思います。私も同様に感謝しています。本当に、1学期はありがとうございました。

もちろん、**学校として不十分な面も沢山あったはずで、保護者の方も学校に対して様々な思いがあるかと思いますが、声に出さず飲み込んで下さっているのです。**教員は、そこを自覚しなければダメです。言葉にしてしまうと、言葉だけが膨らみ一人歩きして、小さな出来事がモンスター化してしまうことがあります。だから飲み込むことも大事です。かといって私たちは、けっして甘んじてはいけません。飲み込んでいただいていることに感謝しつつ、1学期の最後に、一番厳しい話をします。

富士見丘小は、どんな“蕎麦”を提供できるか！

さて、みなさんが、蕎麦屋さんで蕎麦を食べに行くとします。おいしい蕎麦を期待しますよね。それとも、**まずくても気にしないですか。どんな蕎麦でもかまいませんか。**

例えば老舗の蕎麦屋さんで、2,000円の蕎麦を食べたとします。**どの程度のそばを期待しますか。**もしくは、立ち食い蕎麦で、400円の蕎麦を食べた時はどうでしょう。同じように…

保護者や児童は、本校の教育にどの程度の期待をしているのでしょうか？

そんなことを考えたことがない先生は、「私の出す蕎麦を、四の五の言わず、黙って食べなさい」というスタンスですから、かなり横暴だと自覚した方がいいと思います。

保護者が、学校にどの程度の蕎麦を期待しているか、400円、2,000円、それはわかりません。

では、みなさんは、どの程度の教育を目指していますか？ 400円、2,000円で満足していますか。5万円くらいのフルコースを求められたら、どうですか？ 身の丈に合っていないので完全拒否？

そこが、保護者との感覚の違いなのかもしれません。富士見丘小学校は、500円の蕎麦屋さんである、と言ってしまうんですか？ 1,000円の蕎麦を出す気はない？ お手頃価格のお蕎麦屋さんを否定するつもりは毛頭ありませんが、安いだけで満足していいのか！ 本校は、もっともっと伸びしろがあります。1,000円、2,000円のもっともっと**おいし蕎麦を、お客さんに出したいですよ。**

まずい蕎麦屋はつぶれるが、学校はつぶれない それでいいのか？

いずれにしても、皆さんが蕎麦を食べに行って、まずかったらどうしますか。2度と行かないですよ。そして、その店はやがてつぶれます。料理人は、解雇されるかも知れません。

ところが、学校は、どんなにまずくても、明日も、お客さんが来るんです。そして、つぶれないし、解雇されません。それでいいのでしょうか。

このことを、以前、痛烈に批判している記事がありました。「**学校は、どんなにひどい教育をしても、なぜ、生き残っているのか？**」、それは、「子供が悪い、親が悪い、地域が悪いと、学校以外に責任を転嫁できてしまうから」、さらに「やがて、子供は卒業していく、教員も異動していく、校長もいなくなる、どんなに負のスパイラルがあっても、器だけは残り続けるから」、もはや学校には期待しない。こんな見方をされているということも、私たちは心に留め置くことが必要ではないでしょうか。

富士見丘小学校は、創立70年を超える老舗です。子供たちや保護者、地域から、さらに高い期待をされる学校にしていきたいと思います。少なくともTDLには負けません。



子供たちのために、さらにおいしい蕎麦作りに精進しましょう！！

夏休みも **すべては、子供たちのために！！**